

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 6 部門第 2 区分
 【発行日】平成21年10月8日(2009.10.8)

【公開番号】特開2006-119197(P2006-119197A)
 【公開日】平成18年5月11日(2006.5.11)
 【年通号数】公開・登録公報2006-018
 【出願番号】特願2004-304363(P2004-304363)
 【国際特許分類】

G 0 3 G 15/20 (2006.01)

G 0 3 G 21/14 (2006.01)

【F I】

G 0 3 G 15/20 5 0 5

G 0 3 G 15/20 5 5 5

G 0 3 G 21/00 3 7 2

【手続補正書】
 【提出日】平成21年8月24日(2009.8.24)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】特許請求の範囲
 【補正対象項目名】全文
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】
 【請求項 1】

記録紙に画像を形成する画像形成手段と、記録紙上の画像をニップ部にて熱定着する定着回転体と、前記定着回転体を内部から加熱する内部加熱部材と、前記定着回転体を外部から加熱する外部加熱部材と、前記定着回転体に対し前記外部加熱部材を接離させる手段と、前記内部加熱部材並びに前記外部加熱部材による加熱動作を前記定着回転体の外面温度に応じて制御する手段と、を有する画像形成装置において、

複数の薄紙への画像形成に続けて複数の厚紙への画像形成を行う場合、前記薄紙が前記ニップ部を通過する間は前記外部加熱部材が前記定着回転体から離間させた状態とし、前記厚紙が前記ニップ部を通過する間は前記外部加熱部材が前記定着回転体に当接させた状態となるように制御することを特徴とする画像形成装置。

【手続補正 2】
 【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】0 0 1 2
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【0 0 1 2】

上記目的を達成するために本発明にあつては、以下の構成を採用する。すなわち、記録紙に画像を形成する画像形成手段と、記録紙上の画像をニップ部にて熱定着する定着回転体と、前記定着回転体を内部から加熱する内部加熱部材と、前記定着回転体を外部から加熱する外部加熱部材と、前記定着回転体に対し前記外部加熱部材を接離させる手段と、前記内部加熱部材並びに前記外部加熱部材による加熱動作を前記定着回転体の外面温度に応じて制御する手段と、を有する画像形成装置において、複数の薄紙への画像形成に続けて複数の厚紙への画像形成を行う場合、前記薄紙が前記ニップ部を通過する間は前記外部加熱部材が前記定着回転体から離間させた状態とし、前記厚紙が前記ニップ部を通過する間は前記外部加熱部材が前記定着回転体に当接させた状態となるように制御することを特徴とする画像形成装置である。